

大輪田橋・震災復旧モニュメント

平瀬公園向かいの地名にちなむこの大輪田橋は、1924年の竣工以来、二度の大きな災害に遭っています。1945年3月17日の神戸大空襲では、水を求め、この橋に避難した多数の市民が、炎にまかれ犠牲になりました。橋にはその時の炎で黒く焼け焦げた跡が、今も残っています。そして50年後の1995年1月17日の阪神・淡路大震災により、この橋自体の親柱が崩れ落ちる被害を受けました。

ここに、震災と震災を経験した「生き証人」でもある親柱をモニュメントとして再構成し、その時節の冬の星座をかたどった照明によって、私たちの記憶に永くとどめるとともに、鎮魂の意を示すものです。

1998年10月

神戸市

作品番号：16700154

作品タイトル：大輪田橋・震災モニュメント

作家：岡崎 弘行

キャプション：

コレクション：OPO

ソース：

撮影地：神戸市兵庫区 中之島

撮影年月日：2007

学術名：

クレジット表記：(c)OPO / Artefactory

モデルリリース：なし

プロパティリリース：なし

ピクセル数：5567px × 4175px

印刷サイズ：40.4cm × 30.3cm

データサイズ：16.1MByte

ファイル形式：JPEG